

**買い物での会話を楽しみながら、友達同士でコミュニケーションを図る場を設定した指導計画
＜松川中央小学校＞**

1 単元名・学年 「好きな服でコーディネートしよう」・5年

2 単元設定の理由

5年生になって外国語活動の学習が始まり、学級の児童が英語を使って学習することに楽しさを感じられるようになってきている。また、毎週外国語学習を行うことで、英語に対して親しみをもつ児童が多くなってきている。

一方、コミュニケーションを図ることに関しては、日常では苦手意識をもっている児童がいる。教師やAETの問いに対しては反応をする姿が見られるが、友達同士で会話をする場面でどう話したらいいか戸惑う姿が見られた。しかし、その戸惑いの裏では、「もっと聞き取りやすいように発音をしっかりしたい。」「今まであまり話せなかった友達と英語で話してみたい。」「日本語では聞きにくいことも英語なら聞ける。」「もっと友達と話したい。」という思いが振り返りカードで見られた。

本単元では、自分の好きな色の衣装を紹介したり、自分が着てみたい衣装の買い物の場面を設定し、体験的に友達同士でコミュニケーションを楽しく交わせることをねらいとしている。また、児童自身もお互いに着ている服に関して、興味をもちだす年齢であるため、意欲的に取り組むことが期待できる。

単元を4時間構成とし、第1時に「世界の民族衣装について知ろう」をテーマに、第3時に扱う色や衣装の名前などの単語の定着を図る。第2時に、「自分の衣装や好きな色を紹介しよう」をテーマに、色と衣装を組み合わせた言い方 red T-shirt, blue cap や持ち物を聞く会話 Do you have a ~ ?を身につける。第3時では、買い物に必要な How much? May I help you?などの会話をゲーム等を通して身につけ、買い物ゲームを行う。第4時では、自分が選んだ衣装のコーディネート友達を紹介し、認め合うことでコミュニケーションを図ることの楽しさを実感し、さらに英語に慣れ親しんでいくと思われる。

このように、自分の思いや考えを伝えたり、相手意識をもったりしながら、友達と積極的にコミュニケーションを図ることを目指したいと考え、この単元を設定した。

3 単元の具体目標

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	自分の好きな色や好きな色の衣装を紹介したり、積極的に友達と英語で好き嫌いについて、情報交換をしようとする。
イ 外国語への 慣れ親しみ	聞いたり話したりしながら、買い物に必要な表現に慣れ親しむ。
ウ 言語や文化に 関する気づき	①世界には、風土や文化によって衣装が異なることに気づく。 ②外国での買い物の仕方に興味をもつ。

4 単元展開の概要

時数	学習活動	学級担任の活動 (AETの活動)	● 指導上の留意点 ◇ 国際理解の観点 ◎ 評価の観点	教材
1	◎世界の民族衣装について知ろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・衣装や色を発音する。 ・世界の様々な民族衣装を紹介する。 ・新出語句を使ってチェンゲーム(伝言ゲーム)をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●世界の民族衣装の写真を用意し、「着てみたい衣装はある？」などと聞きながら、興味をもたせる。 ◇異国文化に興味・関心をもたせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・民族衣装の写真 ・絵カード ・色カード
◎世界には、風土や文化によって衣装が異なることに気づく。【ウー①】				
2	◎自分の衣装や好きな色を紹介しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな衣装や色を友達に紹介させる。 ・外国での買い物の仕方を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●衣装や色を紹介しながら、英語の発音に慣れさせる。 ◇外国での買い物の仕方に興味・関心をもたせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣装のカード(英語ノート付録)
◎自分の好きな色や衣装を紹介して、積極的に友達と英語で関わろうとしている。【アー①、ウー②】				
3	◎自分の好きな服を買い物しよう。	本時案参照		
4	◎買い物で買った服でコーディネートして友達に紹介しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・前回買い物をした衣装を使って好みに応じてコーディネートする。 ・友達のいいところを見つけ、ほめるようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の衣装のいい点を見つけて、ほめられるように英語のほめ言葉(ex: You look beautiful. 等)を教える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣装のカード
◎自分がコーディネートした衣装を紹介したり、友達のいいところを見つけ、ほめようとしている。【アー①②】				

5 評価計画 (◎：主となる観点、○：主ではないが大切にしたい観点)

時数	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語への 慣れ親しみ	ウ 言語や文化に 関する気づき	評価方法
1	○		◎	行動観察 振り返りカード
2	◎			行動観察
3	○	◎	◎	行動観察
4	◎	○		行動観察 振り返りカード

6 本時案

(1) 主眼

お互いに作った衣装を店に並べ買い物をする場面で、店員と客という関係で会話やお金をやりとりすることを通して、買い物をするときの会話に親しみ、自分の好みの衣装を手に入れることができ、買い物を通じて友達とのコミュニケーションを楽しむことができる。

(2) 本時の位置 全4時間中の第3時 (Hi, friends! : Lesson 5③と関連)

(3) 指導上の留意点

- ・会話のモデルをAETがいる場合は共に行い、AETが不在の場合はパペットを使って会話のモデルを示す。

(4) 展開

段階 (分)	児童の活動	学級担任の活動 (AETの活動)	● 指導上の留意点 ◇ 国際理解の観点 ◎ 評価の観点	教材
挨拶 (2)	1 あいさつをする 2 How are you?で聞かれたら自分の様子を英語で答える。	・全体にあいさつをする。	●活動が楽しくできるように、明るく元気にあいさつをする。	
復習 (7)	3 Let's Play ・サイモン・セズ・ゲーム ・チェーンゲーム	・AETがサイモン・セズをやる。 ・色を表す語と衣服に関する語を英語で言う。 ・色と衣服の語を組み合わせる言い方も言う。 ・買い物で使う表現を復習する。	●本時で扱う単語や表現を入れるようにする。 ●買い物で使う表現をゲームを通して全員が言う機会を作る。	・(衣装の)絵カード ・色のカード
展開 (10)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 本時の活動(目標): 買い物をして、自分の好きな衣装をそろえよう。 </div> 4 買い物のやり取りを知り、ペアで練習をする。		◇日本の買い物とは表現が違うことを再度理解させる。 ●AETやパペットを使い、会話のモデルを示す。 ●机間指導をしながら、うまくやり取りができない児童に寄り添い、一緒に言葉を言ったりしながら児童自身が発話できるようにする。	・衣装のカード (英語ノート付録) ・お金のカード
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【やり取りの例】</p> <p>店員：店 お客：客</p> <p>店：Hello!</p> <p>客：Hello!</p> <p>店：May I help you?</p> <p>客：Do you have a red T-shirt?</p> <p>店：Yes, I do./ No, I don't.</p> </div>		買い物での会話の説明をする。 ・ペアになり、店員役と客役に分かれて会話の練習をする。		

<p>展開 (20)</p>	<p>5 店員と客に分かれて買い物をする。</p>	<p>買い物の説明をする。 ①買い物のやり方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店は班ごとで1つ。 ・前半と後半で店員と客を交替する。 ・班員の衣装カードを店に並べ、値札を置く。(\$1, \$2, \$3) ・一人の持ち金は\$6。 ・次時にコーディネートをしたときに何も買わないということがないように衣装を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ● Hello. O.K. Thank you. など、相手を意識した表現について確認をし、心を込めて伝えるように伝える。 ● 衣装の値段は、分かりやすく\$1, \$2, \$3のみとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣装のカード (英語ノート付録) ・お金のカード
<p>◎買い物に必要な表現を聞き、話したりしながら、英語の発音や、リズム、受け答えの仕方や買い物の仕方に慣れ親しむ。【イー①、ウー②】</p>				
<p>まとめ (5)</p>	<p>6 振り返りカードを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに、授業を振り返っての感想を書かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 次時の意欲につながるように、児童のよさを中心に評価する。 ● 評価は、本時のねらいがどのように達成されたのか、次の時間のめあてなど具体的に話す。 	<p>振り返りカード</p>
<p>挨拶 (1)</p>	<p>7 終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体にあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語で元気よく挨拶を交わし、授業を終わりにする。 	

(5) 資料

●チェーンゲーム

チェーンゲーム＝伝言ゲーム。教室の列ごと、先頭から後に向かって、単語や表現を伝えていく。正確に後まで伝わることを確認したり、競わせたりする。

●民族衣装に関する資料

第1時の「世界の民族衣装について知ろう」で使用する民族衣装の画像データリンク

http://hapilab.obunsha.co.jp/material/e_card.html